

## 白山市文化施設

# 白山ミュージアム

CHIYODA YONOSATO HAIKUKAN

MATTO HAKUBUTSUKAN

MATTO YAKAGAWA KAZUMASA KINEN BIYUTUSUKAN

JSHIKAWA RU-TSU KOURYUKAN

MATTO FURUSATOKAN

TSURUGI HAKUBUTSUKAN

TORIGOE IKKOU IKKI REKISHIKAN



白山市立鶴来博物館山田城

鶴来博物館に併設している山田城は、昭和37年に鶴来出身の山田甚太郎さん（一八八四～一九七四）が別荘として建設し、翌年、町民の文化活動に役立ててもらおうと旧鶴来町へ寄付された建物です。内部は木造の三層構造で隣に平屋があります。

山田甚太郎氏は文化に造詣が深く自らも地元の俳壇高根社等で活躍されていました。戦前は、材木商等を営んでおりましたが、戦後、東京深川で料亭を営み、出身地の鶴来に別荘をとのことで山田城の建設にいたつたようです。別荘は時々帰省した際に使用するのみでした。

当時の鶴来町には博物館がありませんでしたが、地元の郷土史家が企画する文化財を中心とした展覧会を公民館などで開催しており、新たな博物館は町民にとってありがたいことでした。

山田城の寄付により昭和38年から鶴来町立博物館として展覧会や俳句の会の会場として親しまれてきました。現在は、収蔵庫として使用しております。また、平屋の周囲は、春先になると、桜に詳しい長基健治氏が世話をした枝垂れ桜が咲き誇り、城郭建物と獅子吼の山並み、桜の風景がひときわ生えます。

## contents

■ 白山市立鶴来博物館山田城	1	■ 松任ふるさと館	9
■ 千代女の里俳句館	2・3・4・5	■ 松任博物館	10
■ 鶴来博物館	6	■ 鳥越一向一揆歴史館	15
■ 松任中川一政記念美術館	7	■ 平成23年度行事予定等	16
■ 石川ルーツ交流館	8		

No. 5  
平成23年3月31日

## 千代女史料の紹介

## 福増屋と町肝煎村井屋

## 『近世奇跡考』と千代女

（きんせい きせきこう）

いた俳人を家にとどめて俳句を学ばせた。

江戸時代後期の化政文化を代表する戯作者・山東京伝は高校の日本史にも登場する人物です。数々ある彼の作品の中に『近世奇跡考』（全五巻）という隨筆があり、文化元年（一八〇四）に出版されました。この書物には、江戸時代のさまざまな出来事や習俗についてのいわれ、人物についての逸話などを、古い書物や絵図にもとづき、京伝がひとつひとつ考証を加えて紹介しています。

27歳で再び京都へ上った。  
剃髪して素園と名乗った。  
千代の容貌は美しく、口数が少なく、閑寂を好み、絵も上手だった。

18歳の頃金沢の福岡家に嫁ぐが、夫が死んだため実家へもどり俳句の道にいそしんだ。  
23歳のとき京都へ上りその後伊勢で俳人の麦林舎乙由の門人となつた。

問題は、京伝がこの情報の出所を「千代尼の一族松任駅村井屋小十郎ものがたりき」と説明しているところにあります。千代女が没したのが安永四年（一七七五）です。二十八、九年近く経つた後に山東京伝が取材した千代女の親類と名乗る村井屋小十郎とはいつたい何者でしょうか。

松任は京都への交通の要衝であつたために、千代のもとへ毎日のように全国の俳人が交流し、求められるままに書画を与えたため、その名は日本中に知られるようになつた。

## 町肝煎・村井屋

白山市指定文化財「青木家文書」の「寛政二年諸事留帳」とい

- 幼い頃より俳句の道を志して
- 千代は、宿場町・松任の福増屋六兵衛という者の娘であつた。
- ある時彼女の詠んだ俳句を聞いた父母はそれほどの意気込いた。
- みならばと、諸国を行脚して
- 安永四年九月八日74歳で死去。辞世の句は「月も見て我はこの世をかしきかな」
- 金沢の専光寺に葬られた。

う古文書があります。松任町年寄役・加賀藩本陣御用を歴代務めた青木家（笠間屋）の当主が常

んだ石碑が建てられた。  
(以下省略)

以上の内容についてはこれまで数多くの千代女研究家がとりあげて検討が加えられてきており、現在では定説と異なる部分もあるのですが、今回はこのことについては触れません。いざれにせよ千代女は江戸時代の人々にとつて非常に良く知られた人物であつたことを物語っています。

問題は、京伝がこの情報の出所を「千代尼の一族松任駅村井屋小十郎ものがたりき」と説明しているところにあります。千代女が没したのが安永四年（一七七五）です。二十八、九年近く経つた後に山東京伝が取材した千代女の親類と名乗る村井屋小十郎とはいつたい何者でしょうか。

料）は時代によつて異なります  
が、小十郎の頃には、銀一貫二百五十目（金20両程度）だつた  
ようです。富裕な家柄かつ身上  
が確かに、才幹のある者から選  
ばれましたが、一度その家の者  
が任命されれば、世襲されるこ  
とが多かつたようです。また場  
合によつてこの役職以外にも役  
職を兼務しその手当も受け取る  
ことができたようです。先述の  
「諸事留帳」では次のように記  
述されています。

町肝煎役相勤候人々  
(前文省略)

元禄十三年十二月二十八日（より）

享保二年（小松屋が）病死（のため）  
村井屋小兵衛

同二十一年二月（小兵衛が）隠居（のため）  
村井屋久兵衛

め  
明和三年十二月（久兵衛が）隠居（のため）  
村井屋小兵衛  
寛政三年十二月二十二日（小兵衛が役儀）御指除（のため）

### 村井屋小十郎

（年号なし）

（福増屋）六左衛門

（以下省略）※（ ）は筆者補足

其方親久兵衛儀久々町方肝煎役相勤居申候處、近年病身ニ罷成別而去春以来氣配之所々不仕尔付、町年寄中申聞候趣懸檢儀候、久兵衛義數年全相勤申者之儀徳也、其方儀跡役申渡候条得其意、町方御縮方嚴重ニ可相勤候、以上

亥（明和四年・一七六七）

十二月 熊谷半左衛門（印）

松任町肝煎久兵衛（印）

これにより、村井屋小十郎は

寛政三年（一七九一）十二月に前任者の村井屋小兵衛が何らかの理由で肝煎職を指し除かれたた

めに代わって町肝煎に就任して

いることがわかります。享保二

年（一七一七）に村井屋小兵衛が就任した際のいきさつは、前任

者の小松屋三郎右衛門が私欲に走った過度をとがめられ、この

年の十一月に閉門・役儀召し放

められたので、息子である小兵衛

にその役職を相続することを認めると、加州郡奉行の熊谷・浅

川の後村井屋が代々続くことになつたのです。また初代と三代

目で小兵衛を名乗るなど同じ一族で役職を世襲していたことが推察されます。

『青木家文書』には「明暦三年の誤記であることもわかります。

### 村井屋の住所

（一六五七）松任町役仕ル間数改帳」という古文書も残つております。松任町民が負担すべき税額について、家の間口の広さに割り付けるための算定資料として作成されたものです。このなかに村井屋小兵衛という者が「西町」に

六間余（約11m余）の間口を構えて存在していたことが記されてます。享保二年に町肝煎に就任した小兵衛から遡ること六十年前ですから同一人物ではなく、父か祖父にあたる人ではないでしょうか。「西町」は現在の安田町、中町、八日市町、四日市町、東一二三番町にあたります。三百八十八軒あつた当時

吉文書から、現在の八日市町にある田中屋菓子店付近であつた

ことか分かっています。またこの「間数改帳」には、「福増屋」と

いう屋号を持つ家が現在の東三番町付近に三軒記入されていますが、千代女の生家である福増屋であるかどうかは不明です。

### 村井屋と福増屋の関係

さて、この村井屋と千代女の関わりを物語る重要な資料が残されています。千代女が

村井屋久兵衛にあてた九月一日付け書簡です（個人蔵）。正確な年代は判りませんが、千代女が素園と名乗るのは宝暦四年（一七五四）に剃髪してからなので、この書簡もそれ以降のものでしよう。

これは現在石川県立歴史博物館に所蔵されている古文書です。町肝煎であった村井屋久兵衛が近頃病気がちになり職務に支障をきたしてきたので、上役の町年寄に問うた所、これまでの久兵衛の職務態度が非常に良かつたので、息子である小兵衛にその役職を相続することを認めると、加州郡奉行の熊谷・浅川の二人が命じています。

また、先述の「寛政二年諸事

証しです。村井屋の住所はこの

まづく御道すがら御機げんよく御かはらせなふ御つきあそばさし候事うけ給御めでたくよろしくぞんじ上参らせ候。その後そろそろ湯へ御入御気はいも御よろしき様に思ひし候や、御様子のほど御心もとな

くいづれもなくあんじ入参らせ候。

一筆申あげ参らせ候

むかいおは、様はじめみな／＼様御  
かはりなく候ま、御あんじ被下まじ  
く、吉三郎様も淋しがりも被成す  
候や心もとなくぞんじ参らせ候。  
六兵衛もよろしう我より申上度よ  
し申きけ参らせ候。

此せいろうめづらしからず候へども  
御人のつるでさし上参らせ候。御慰  
可被下候。とかく御ようすをうけ  
給たくまでにおわしまし候。

返／＼。早々申上参らせ候。

目出度かしこ

菊月一日 素園  
村井や久兵衛様

病気療養のため湯治に出向い  
ている久兵衛の身を案じている  
千代女の書簡です。おおまかな  
文意は、「湯治場へ無事に到着し  
たそで良かつたですね。お湯  
に入つて病状も良くなつたか案  
じります。向かいのおばあさ  
まはじめ残つてゐる村井屋のみ  
な様も元氣ですか安心してく  
ださい。連れて行つた吉三郎様  
は寂しがつていないのでしょうか。  
六兵衛からもよろしく申してお  
ります。」といった内容です。文  
面から千代女と村井屋一族との

親密な間柄を伺わせる書簡です。

実は松任では、千代女の母親

は、村井屋から出たという言い伝  
えが残されており、この書簡か  
ら千代女研究家の故・中本恕堂

氏は「むかいおばば様」こそが

千代女の祖母、久兵衛がその内  
孫で千代女の従兄、千代女の  
住居に対して「むかい」という

ことから、同じく古くから千代  
女の住居跡だ言い伝えられてい  
たいくつかの候補地のなかから

現在の八日市町六番地（現在の  
ギヤラリー千代堂）が彼女の住  
居であると結論付けました。書

簡中の人物で「吉三郎様」は久  
兵衛に同行していることから彼  
の孫（のちの小十郎の可能性あ  
り）、「六兵衛」は千代女の養子  
福増屋六兵衛（俳号・白鳥）で  
あるとも推測しています。

## 村井屋と湯治

〔久兵衛山代江湯治願紙面〕

一、私儀痛所在之候ニ付山代江湯  
治仕度奉存候間、日数一廻り御暇  
被仰付被下候ハ、難有添可奉存  
候、以上

丑（延享二年・一七四五）

八月廿六日 松任町肝煎久兵衛  
（印） 永原半左衛門殿  
岡田一平太殿

（奥書）

右肝煎久兵衛儀痛所在之、湯治仕  
度旨書付を以奉願候ニ付上之申  
候、御用之儀ハ指支不申様ニ私共  
も夫々可申渡候間、奉願候通被仰  
付被下候様ニ仕度奉存候、以上

松任町年寄笠間屋六郎右衛門

同断相川屋次郎兵衛  
同断車屋伊兵衛

また、久兵衛の後を継いだ小  
兵衛も山中温泉へ湯治に行つ  
ていたことを示す天明元年  
（一七八二）付けの古文書も残つ  
ています。小兵衛は、天明三  
年（一七八三）には大聖寺へ来て  
いた越前武生の医者に、体の痛  
みを治療してもらうため、加州  
郡奉行へ提出した五日間の町肝  
煎職休暇申請書も提出していま  
す。しかし村井屋小十郎の湯治  
記録は残つていません。

## 町肝煎・福増屋六左衛門

「寛政二年諸事留帳」では村  
井屋小十郎の後任には福増屋六  
左衛門という者が就任していま  
すが、その就任年月は不明です。  
ただ、享和三年（一八〇三）一月  
付の古文書で町肝煎六左衛門と  
して名が残つてゐるため、遅く  
とも小十郎はこの年までに町肝  
煎職を六左衛門に譲つてゐるこ  
とになります。したがつて山東  
京伝が取材をした頃には小十郎  
は町肝煎職では無かつた可能性  
があります。

さて小十郎の跡を襲つた六左  
衛門ですが、彼こそが千代女の

養子である福増屋六兵衛の子供で、千代女の孫であると故・中本恕堂氏は指摘しています。「寛政二年諸事留帳」には、千代女が没して一年後の安永六年（一七七七）に、六兵衛が油吟味人という町役人に就任し、寛政五年（一七九三）には油肝煎に昇格していることが記されており、いっぽうその子六左衛門も父の後を追うように寛政九年（一七九七）に油吟味人に就任しています。福増屋が家業としていた表具師を廃業して、町の重要産業である菜種油生産を統制管理する町役職を親子で世襲しているのです。

これらの役職に就任するためにはおそらく町肝煎であった村井屋が助力したのではないかと推測できます。また、六左衛門はこのまま油肝煎とはならず、先ほど述べたように町肝煎職に就任しています。おそらく何らかの理由で小十郎のあと町肝煎職を継ぐ者が村井屋にいなかつたため、親類である福増屋の六左衛門がその跡を継いだのだと考えられるのです。

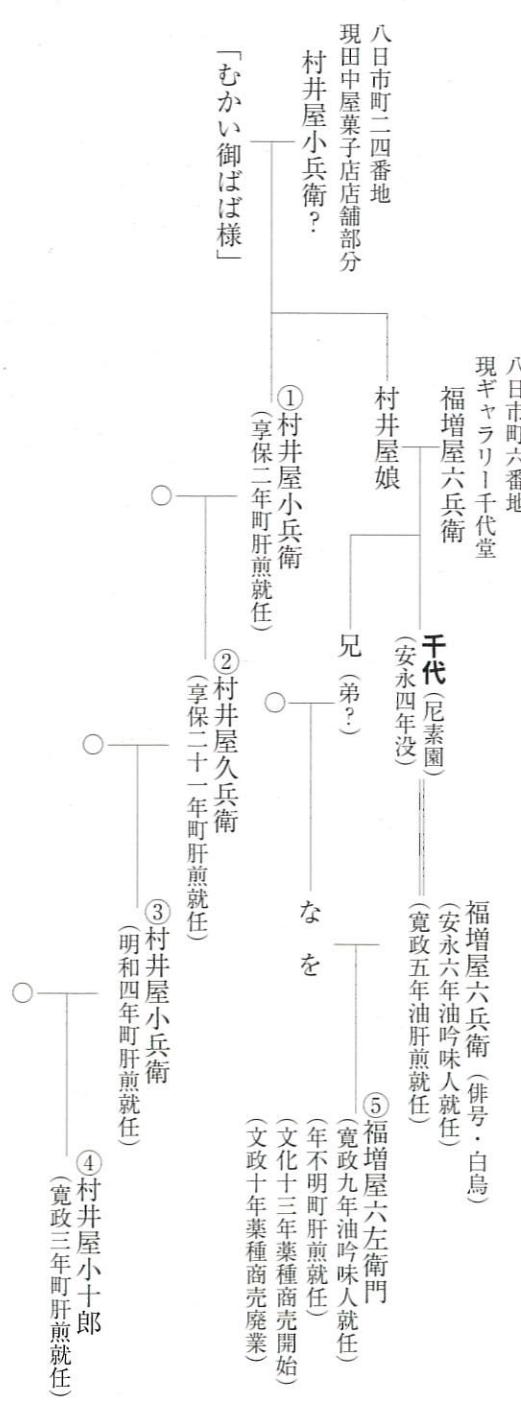
ところが文化十四年（一八一七）の時点では町肝煎はすでに黒瀬屋伝右衛門という者に代わっています（『青木家文書』「室商売指止ニ付御役銀退転」）。

六左衛門はどうなつたのでしょうか。実は文化十三年（一八一六）九月に薬種商売を始めており（『青木家文書』「御役立商売しらべ帳」）、おそらく町肝煎を何らかの理由で退職し商売を始めたようです。しかもこの薬種商売も文政十年（一八二七）に廃業しています。

政五年（一七九三）には油肝煎に昇格していることが記されており、いっぽうその子六左衛門も父の後を追うように寛政九年（一七九七）に油吟味人に就任しています。福増屋が家業としていた表具師を廃業して、町の重要産業である菜種油生産を統制管理する町役職を親子で世襲しているのです。

これらの役職に就任するためにはおそらく町肝煎であつた村井屋が助力したのではないかと推測できます。また、六左衛門はこのまま油肝煎とはならず、先ほど述べたように町肝煎職に就任しています。おそらく

福増屋・村井屋推定系図



この六左衛門以降、明治にいたるまで村井屋と福増屋が富裕な町人として町肝煎をはじめ町役人に名前を連ねることはありませんでした。故・中本恕堂氏は現在聖興寺に納められている福増屋の法名軸と、村井屋一類が建てた福増屋六左衛門の供養墓石（現在その所在は不明）から、福増屋が六左衛門をもつて絶家したことを指摘しています。また、村井屋も小十郎以降の子孫がどういう商売を生業としたのかはわかつていません。幕末の

松任の町並みがわかる『青木家文書』の「文久三年（一八六三）宿絵図」では、福増屋住居推定地には桶屋仁兵衛という者が入つており、村井屋住居推定地付近には同じ屋号の村井屋伊兵衛という者の名前が見えますが関連があるかは不明です。

本稿のまとめとして千代女を取り巻く村井屋と福増屋の推定系図を提示して終わりたいと思います。（文責 小中 和也）

# 「白山への道」

## 白山の雷の鳥

第六回目となつた特別展「白山への道」は、「白山の雷の鳥」と題して一昨年から白山で再び確認されたライチョウに関する資料を約五〇点展示いたしました。

展示品をお借りさせていただいた個人の方々に、新たな資料を沢山提供いただき誠に有り難く思います。展示準備、企画の段階では、古記録などを中心にと予定しておりましたが、昭和三〇年代頃まで何かと多くのライチョウグッズがあつたことに驚かされました。また、ライチョウは白山登山者にとつて身近な鳥であつた気がいたしました。そもそもライチョウは、氷河期生き残りの鳥とされ、日本では標高二〇〇〇m以上の高山でしか生息しておりません。あま

り飛べない鳥で晴天時には、上空から天敵であるイヌワシに襲われる危険性があるためか、曇つて視界が悪くなると出没するそうです。江戸時代の白山の紀行文には、「お花畠」(高山植物の群生地)とともに白山のライチョウが絵や文で表現されております。江戸時代の紀行文には「土民(地元の人)は雷除けにこの鳥の羽を持つて登山する」と書かれています。展示では、鶴来の個人より幕末から先祖代々伝わる雷除けとして使用されたライチョウの羽をご提供いただきました。羽を包んであつた和紙には嘉永年間(一九四八~五四)に先祖がこの羽を持って白山登山したと書かれてありました。

近代になり白山の画家玉井敬泉さんや俳画家小松砂丘さんが鎮

り飛べない鳥で晴天時には、上空から天敵であるイヌワシに襲われる危険性があるためか、曇つて視界が悪くなると出没するそうです。江戸時代の白山の紀行文には、「お花畠」(高山植物の群生地)とともに白山のライチョウ

火符としてライチョウの図柄を使用しております。このようないい處には、北陸は冬場に雷が多く落雷による火災除けのお守札の意味合いもあつたようです。小松砂丘さんは、鎮火符のみならず、金沢の酒造メーカーが酒を入れて販売した徳利の表面に「白山雷鳥延命符」と描いて売っていたことはユーモラスです。

白山のライチョウは、戦前、戦後、白山登山のポスター、九谷焼の置物、輪島塗の図柄、白山比咩神社の絵馬、昭和三〇年代の登山バッチ等、さまざまなものにデザインされておりました。残念ながら、戦後、確認できなくなりその姿を写真に收める人はほとんどいなかつたようです。

近年の研究でライチョウは冬季に移動する事がわかり、断定はできませんが、一昨年より白山で生息しているメスのライ

チョウは他の山々から移動して使用しております。このようないい處には、北陸は冬場に雷が多く落雷による火災除けのお守札の意味合いもあつたようです。小松砂丘さんは、鎮火符のみならず、金沢の酒造メーカーが酒を入れて販売した徳利の表面に「白山雷鳥延命符」と描いて売っていたことはユーモラスです。

(文責 小阪 大)



白山頂上のライチョウがデザインされた登山バッチ  
(個人蔵)



雷除けとして使われたライチョウの羽  
(白山市内個人蔵)



美術館前景

松任中川一政記念美術館は昭和61年10月10日に開館し、今年は開館25周年・中川一政没後20年となります。一政9歳の時、幼い4人の子供を残して33歳の若さで母は亡くなりました。可愛がり母を想い、最後に一政に「かたいものになろうぞ・」と母親に言われたことがいつまでも心に思い、松任に中川一政美術館を建てたいという申し出を即座に承諾され、とても喜ばれました。

だれのものでもない。自分しか描けない画を描きたい。晩年は自分の手応えを唯一のたよりに創作活動され、96歳にして今が正念場と自分に厳しく問い合わせ心の動くまま力づくる97歳11ヶ月まで精力的に創作活動されました。一政は一番頭の調子のいい時は絵を描く。次に調子のいい時は書を書く。次に調子のいい時は文を書く。一番調子の悪い時は人に会う。

「どつか悪くては絵は描けない。まずい絵をいくら描いてもしようがない。そんな時は描かないほうがよい。」と一政は言つていました。

休むのではなく、いろいろな楽しみをしながら自分の疲れをいやしました。

「中川一政の絵をみると元気がでる・・・。」とよく言われます。年老いても衰えることはなくエネルギッシュな中川一政のパワーが皆様に伝わっているのではないかでしょうか。

人間には完成というものはないようだ。仕事にも完成といふものはないようだ。一つ山を登れば、彼方に大きな山が控えている。それをまた登ろうとする。力づきるまで。

腹の虫 より

勉強などというものは喉が渴いて水を求めるようなもので、乾いてないのに、はたから無理に飲ませても害になるばかりで身にならない。

渴望を待つより他ない。画にもかけない より

特別展 開館25周年展  
講演者 火坂 雅志（作家）  
期 間 10月1日（土）～11月27日（日）  
午後3時～

（文責 中田 令子）



正念場

上手、下手を気にするな・・・。  
上手でも死んでいる絵がある。  
自分が生きている絵がある。  
なんと言おうといい。

自分がしたい事をしよう。

自分がどうしてもしたいことなら、ころんでも起き上がり立ち向かうだろう。

自分の一番したいことに全力を傾けよう。

「もう一度おとずれたい・・・。又ゆっくり来ます」お帰りの際に言つて下さる言葉が何より嬉しいことです。

今年は開館25周年の大きな節目の「正念場」です。

職員一同一丸となつて、心からのおもてなしをし、より多くの方々にご来館いただけるよう努めてまいりたいと思います。

## 伝統工芸美川刺繡



石川県民大学校美川刺繡教室の様子

当館では、石川県民大学校美川刺繡教室を平成二十二年六月から平成二十三年二月まで約九ヶ月間アトリウムと呼ばれる多目的ホールで開催しました。今年度の受講生は、五十一年で刺繡の額、ふくさ、タペストリー等を作りました。指導者の松嶋外枝さんたちはこの他に、美川中学校の生徒にも指導をする



石川県民大学校美川刺繡教室の様子

明治末期の貿易不振によりハンカチ刺繡は一時衰退しましたが、明治四十四年には、これにかわって半襟刺繡が盛んになりました。昭和二年に帯地刺繡が加わると昭和九年には縫い子七百五十人に達する盛況ぶりとなりました。刺繡の製品は京都の問屋の注文によって、派手好みの関西向きが四分の三、上品好みの関東向きが四分の一の割合で作られました。

美川刺繡の歴史は明治二十三年、旅館業兼料理業を営む餅田半次郎が京都から指導者を招き輸出用ハンカチ刺繡を習得させたのが始まりです。

その背景には北前船で栄えた美川港の急速な衰退があり、そのため家計を助ける主婦の手内

職として刺繡が導入されたものでした。その後、販路を開拓し、縫い子二百三十人を数えるほどになりました。

明治末期の貿易不振によりハンカチ刺繡は一時衰退しましたが、明治四十四年には、これにかわって半襟刺繡が盛んになりました。昭和二年に帯地刺繡が加わると昭和九年には縫い子七百五十人に達する盛況ぶりとなりました。刺繡の製品は京都の問屋の注文によって、派手好みの関西向きが四分の三、上品好みの関東向きが四分の一の割合で作られました。

戦争中は経済統制のため大変な打撃を受けましたが、貴重な技術は継承され、戦後はいち早く復活し、現在は帯や打掛、振袖など、美川刺繡の豪華で繊細な美しさは高く評価されています。

下美智子さま（現皇后陛下）のお召物にも美川刺繡が施されました。



美川刺繡「龍神平和之図」

（文責・北潤 和之）

また、ご成婚後の皇太子妃殿下

# 松任ふるさと館の歴史

## 概要

- 所在地・白山市殿町56
- 庭園様式と面積・築山池泉  
(廻遊式・約3317m<sup>2</sup>)
- 建物面積・891m<sup>2</sup>  
(1020坪)
- (269坪)
- 作庭年代・大正元年～大正12年
- 作庭者・猿田造園(金沢市)
- 谷造園(野々市町)
- 施工主・吉田茂平
- 国の登録有形文化財・平成13年10月、主屋、門、物置

松任ふるさと館は、白山市安吉町生まれの大地主で、明治・大正時代に金融、米穀、倉庫業などで活躍した故吉田茂平氏の私邸でした。大正元年に松任の交通の要衝

であつた現在のJR松任駅前に豪邸を安吉町から移築し、一角をモダンなレンガブロックで仕切り、その中で毎日、金沢や野々市の庭師が、ほぼ12年をかけて大正12年頃に庭園が完成しました。

当時、現在の2倍以上あつた庭園には、もう一つ大きな池があり、そこに船を浮かべて園遊



国登録有形文化財の門と物置

会が行われていたと伝えられています。しかし、戦後海外の資産が没収された上、広大な田畠も農地解放で失い、更に6割余りの庭園もその後、民間に売却し、現在の広さとなりました。

しかし、戦後海外の資産が没収された上、広大な田畠も農地解放で失い、更に6割余りの庭園もその後、民間に売却し、現



昭和30年頃の庭園

現在は、お茶会や生花展等文化の拠点として市民に親しまれています。

(文責 小林 秀雄)



主屋側から望む秋の庭園風景

美術館別館がふるさと館敷地内に開館しました。

また、松任駅前地区土地区画整理事業に伴い、以前民間に売却していた土地を市が取得し、平成18年10月に千代女の里俳句館が庭園と隣接して開館。松任ふるさと館、美術館、俳句館とが一体的に活用されるようになりました。

昭和57年、吉田家より残った屋敷の主屋と倉庫・庭園を松任市が譲り受け、「ふるさと館」(当時)として開館しました。昭和62年に倉庫を取り壊し、松任市立中川一政記念美術館(当時)を開館。平成2年には、

# 横江庄遺跡倉庫群中央ブロックの 方格構造・方格地割の検討試案

東大寺領横江庄遺跡は、昭和45年8月、わが国で初めて発見された古代初期荘園遺跡です。平安時代初頭の社会経済構造の変化を具体的に説明し得るまたとない遺跡であるとともに、國內最後に成立した加賀国立国の様相を知る貴重な遺跡であり、そして、その解説が我々の手にゆだねられた、まだ未解説の遺跡です。

横江庄遺跡は、白山市部分  
だけでも東西700m、南北  
300m以上、さらに金沢市上  
荒屋遺跡を含む壮大な拡がりを  
持っています。

検出された建物は130棟を  
超え、しかも各建物の多くが、  
極めて正確に建物の並び方や方  
位角を揃えているなど、都城の  
ような地域計画が施されてお  
り、目を奪われるような内容で  
す。

倉庫群中央ブロックの建物

また、ここ数年、その西側部分の調査が続行されつつあります。このことより従来から推定していた横江庄遺跡の建物方位とその背景にある方格構造の空間編成意図について詳細な検討が可能となつてきました。このうち倉庫群中央ブロックについて見てみましょう。

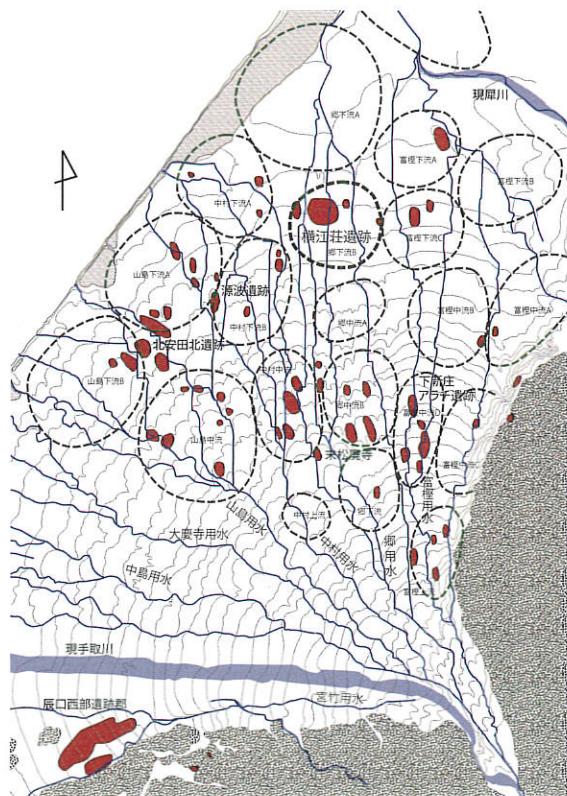
最初の発見以降、断続的に進められた遺跡の調査は昭和60年の大規模な倉庫群の発見を経て、回廊状遺構、南門を有する中心建物址の検出によつて新たな展開を見せ、石川郡の郡庁の可能性が高くなつてきました。

設定意図によつて建てられてゐるため除外すると、西側4列については真北から $3^{\circ}$ 前後西に傾く方位角を持つ建物群が、東西に4列、ほぼ39m前後の間隔で軒を揃えています。各建物の年代は9世紀中葉から後半に集中していますから同一意図で建てられたことは明確です。それぞれの建物の西側を計測点にする

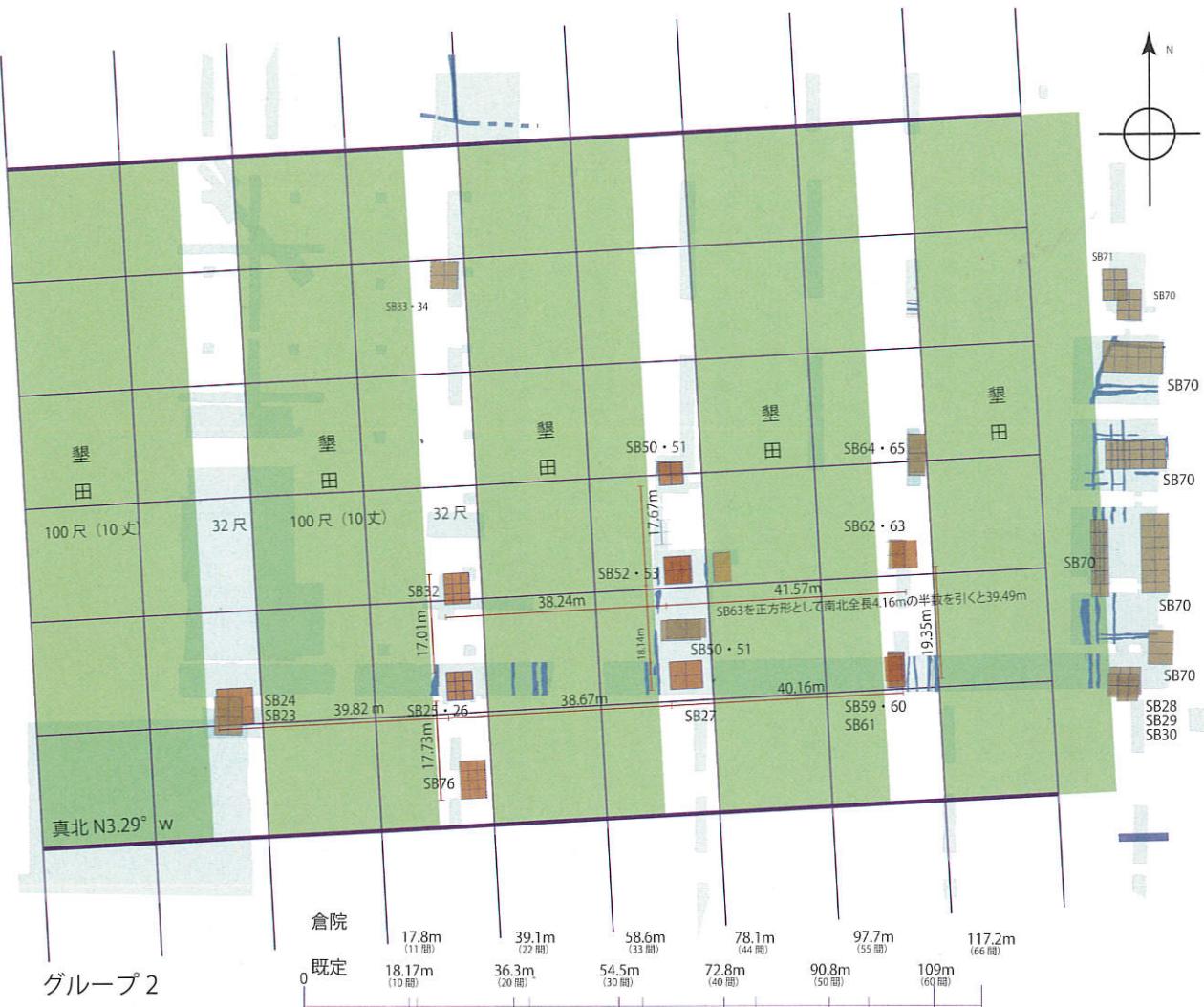
設定意図によつて建てられてゐるため除外すると、西側4列については真北から $3^{\circ}$ 前後西に傾く方位角を持つ建物群が、東西に4列、ほぼ39m前後の間隔で軒を揃えています。各建物の年代は9世紀中葉から後半に集中していますから同一意図で建てられたことは明確です。それぞれの建物の西側を計測点にすると第1列SB24(SBは掘立柱建物址の略号)から第2列SB25・SB26・SB27・SB28から第3列SB29・SB30・SB31

67m 第4列SB59・SB  
60については東側柱列しか判  
明していないから第3列SB  
27からの距離は建物の幅を含  
んで41.57mと別図2のと  
おりとなります。これを当時の  
計測単位である小尺29.6cm  
を基礎として近似値を取ると22  
間(132尺39.07m)の間  
隔が得られます。

一方、各建物は小型で、東  
西幅はSB24の21尺、SB  
25・SB26が15尺、SB  
27が19尺です。各建物列間に  
は100尺を超える空閑地が認



手取川扇状地の古代遺跡分布



められます。

### 倉庫群の建物間隔

平安京遷都の直前にあ  
たる延暦8(789)年  
2月、桓武天皇は諸国の中  
國郡衙に対して、新に倉  
庫を造る場合防火のた  
めそれぞれ10丈(100  
尺)以上の距離を取るよ  
うに命じています。

癸卯。諸國倉庫。不可相  
接。一倉失火。合院焼盡。  
於是勅。自今以後。新造  
倉庫。各相去十丈已上。  
隨處寛狭。量宜置之。  
續日本紀卷第四十  
延暦8(789)年

中央ブロックの倉庫群  
が、この置倉法に従つて  
建てられていることは明  
らかです。

また、32尺は、100  
尺のほぼ3分1ですの  
で、幅22間132尺の土

以上の状況は、倉庫の列と並  
行して整然とした水田農地(墾  
田)が広がっていたことを窺わ  
せます。また、倉庫群の中央ブ  
ロックの建物群は西側を、南北  
側は東側で軒を揃えていること  
ができるように配慮したもの

地区画を策定しそれを縦に4等  
分して、その最も西側もしくは  
東側の4分の1を倉庫建設の敷  
地とし、残りを空閑地の火除け  
地としたものと考えられます。

### 倉庫群中央ブロックの 空閑地と横江莊の展開

第2列のSB25・26建物  
の西側には、軒先の雨落ち溝と  
するにはしっかりと溝があり  
ます。一方、第3列のSB21  
の西側にも、同様の溝が認めら  
れます。第4列は、その東側が  
後世の大きな溝によつて抉られ  
ているので西側は不明ですが、  
東側に複数の溝があり、前記の  
溝と良く似ています。各溝は浅  
いのですが、幅もあり、畝立て  
を考慮すると灌漑用の用水路と  
考えられます。

行して整然とした水田農地(墾  
田)が広がっていたことを窺わ  
せます。また、倉庫群の中央ブ  
ロックの建物群は西側を、南北  
側は東側で軒を揃えていること  
ができるように配慮したもの

で、広々とした環境が前提となつてゐると思われます。空閑地を放置すれば、荒地となつてしまします。遺跡北端の墓谷川沿いの一角にわずかな耕作放棄地がありますが、背丈以上の芦原になつて山鳥さえ住みついていました。こうした土地が広がると、春先の乾燥期間などに火災が発生すれば、いくら相互に距離を採つていても全面焼失の危険はまぬがれませんし、もちろん虫害、畜害の発生も想定されます。また、一部分でも荒地化して見通しができな

くるると、倉庫群は広大な領域に分散配置された金庫のようなものなので、盜難に対しても無防備となります。

従つて、このような環境下にある倉庫群の維持管理には、主に倉庫群管理者側の立場により周辺農地の高度で永続的な管理が必要です。この倉庫群を郡衙正倉院と考えた場合、郡司以外は口分田が発給されないなど農地の直接管理ができない郡庁では、班田農民への班給をさけて、横江莊との複合展開を図つたと理解できます。

方格地割に関する  
見られる建物グールプ

横江庄遺跡では、地区やブロツクなどを超えて展開する方位角の違う大きな建物グールプが3グールプ認められます。倉庫群の他に真北から $1.1^{\circ}$ 程度西に傾く建物群と、真北から $0.9^{\circ}$ 東に傾く方位角を持つ建物群があります。



昭和60年 倉庫群の調査

## 横江庄遺跡の方格地割の検討

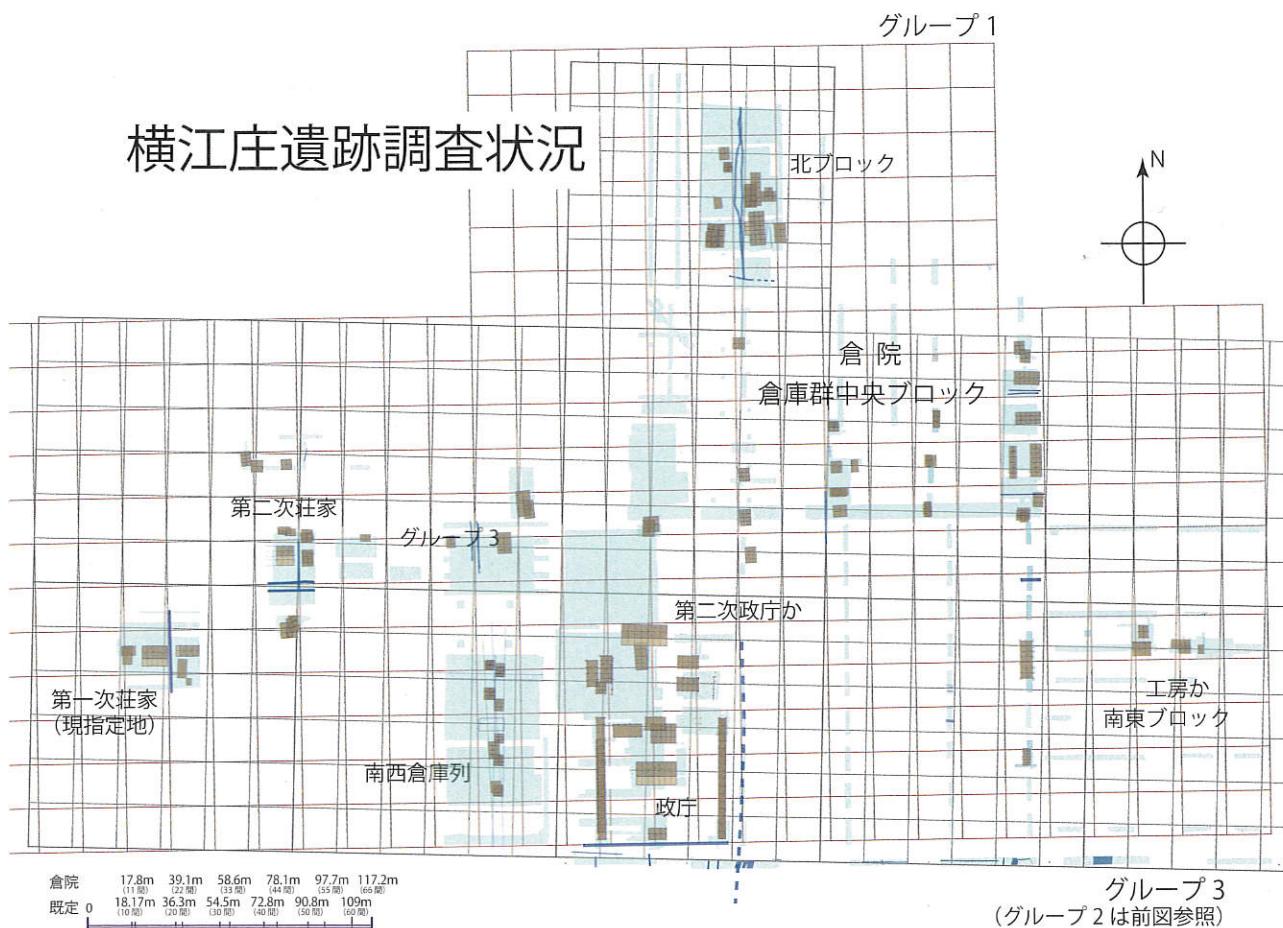
『東大寺横江庄Ⅱ』の報告書で考えられている条里地割は、上荒屋遺跡の十字溝を基準において、その延長の上に成り立っています。しかし、横江庄遺跡側から見ると、上荒屋基準線に該当する遺構は何一つ存在しないことから、むしろ開発段階では関係がないことがはつきりしています。横江庄遺跡は横江庄遺跡として地割区画を検討してゆく必要があります。

を越えて遺跡全体に広がる基礎的な方格地割（条里）と考えてよいでしょう。

その区画を明瞭にすることは難しいのですが、第一次莊家中心部の南北溝と第二次莊家南の東西並行溝を基準線として10間区画（18・18m、地割の単位については360尺に道路幅が付け加わって1町=109mとなつたので、建物の尺寸とは異なる）の方格地割を引くと道路跡や溝址など多くの遺構が関係して来ます。微妙な位置や一町単位の区画を指摘することはまだできませんが、その存在

グループ1

このうち最も年代が遡り、後の時代にも現れ続けるものが、



は確実です。

## グループ2

真北から3°前後西に傾く倉庫群中央ブロックの建物が該当します。北ブロックの建物領域も、中央ブロックが短冊状に配置したものの一ヵ所に集めたと考えると、空閑地との比率が一致します。南西ブロックの倉庫列も一部がこれに該当していますから政庁域も含めた拡がりを持つと考えられます。また、莊家跡北側にも該当する建物が一棟あり、延長して金沢市域側に伸びる可能性があります。

横江庄遺跡の三番目の方位は、真北から9°東に傾く方位角を持つ建物群です。

中心建物北側の大型建物とその周辺の建物、倉庫群中央ブロックの東の端、常願寺団地西側の第6番目の倉庫列の最終段階、近年調査されている南北ブロックの倉庫列、北ブロックの一部など全体に広く見られます。9世紀後半に起こった地割

変更によつて旋回したものと見られます。

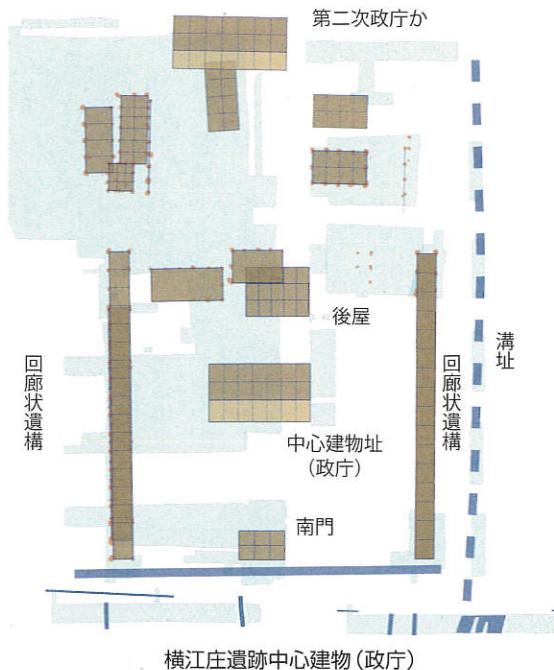
横江庄遺跡の中心建物と南門、後の総柱建物の三棟は、独立したようにはほぼ真北を示しています。このことは、中心建物が特別な権威を有していることを示しています。郡政庁の可能性が高いのです。

その他に、莊家跡周辺や、北ブロックにはさまざまな方位があり、雑舎的な建物であつては、規制が少なかつたのかも知れません。しかし10世紀にはこうした建物の方位規制は横江庄遺跡全体でゆるんでしまいます。

## 倉庫群と横江庄遺跡

この倉庫群については、現在のところ、東大寺が平安時代初期に大規模な投資を行い、横江庄の開墾を飛躍的に進めたとの意見が主流です。中心建物址についても、寺院であるとの意見も残っています。しかし、倉庫群の規模、構造から見ても再検討は避けられません。

## その他の建物方位



付けによる高利な利息収入に頼るようになり、不動穀などははるかな過去のものとなっています。

7～8世紀の巨大な不動穀倉と比較することに意味があるとは思えません。

しかし『日本後紀』巻四逸文では、延暦14年

(795)に東大寺をはじめ諸国七大寺は毎年出拳を行つてその利益が極めて多く、多くの民が払いきれなくて業を失い家を破つてゐるから懲らしめて欲しいとの国司からの要望に、出拳之数を減らすよう指示しています。

これは、見方によれば本来認められない有力寺院の出拳を認めたことにもなります。従つて、東大寺が庄域を超える大規模な出拳を行つた可能性はないとは言えません。

今後の調査

横江庄遺跡のもう一つの問題は、これが一地方の問題ではなく、平安時代初期の中央政府の政治経済体制の推移と深く係わっていることです。このような遺跡は多くありません。

その解説はひとえに今後の調査にかかりています。一棟の建物、一條の溝、一つの柱穴、一片の土器が重要です。今後の調査を注意深く見守る必要があります。

(文責 金山 弘明)

倉庫群の建物規模は、国内で見つかっている他の郡衙正倉とは比べものにならないほど小型です。村落の倉と同じ規模と言つてよいでしょう。そして、種糀である穂付きの米の穎稻（えいとう）が収納されていたことが、焼失したSB26から判明しています。

しかし、9世紀においては、律令体制の基礎である班田収受と戸籍の作成が極めて困難となり、租庸調の一般税が収税不能となってしまいます。地方も国家も出拳と呼ばれる種糀の強制貸し

横江庄関係年表

天平勝宝6年	754	酒人内親王生 母は聖武第一王女井上内親王、父白壁王
宝亀 元年	770	孝謙・称徳女王崩御、光仁天皇(白壁王)即位 井上内親王立后
宝亀 3年	772	光仁天皇呪詛事件、井上内親王廃后、他戸親王(11歳)太子を廢される
		酒人内親王、伊勢斎宮に卜定 19歳
4年	773	山部親王(桓武天皇)立太子 36歳
5年	774	安殿親王(平城天皇)生 母藤原式家藤原良継の女乙牟漏 14歳
6年	775	井上内親王、他戸親王 幽閉先で薨去 酒人内親王、伊勢斎宮を解かれ山部親王の妃となる21歳
10年	779	朝原内親王生、母酒人内親王
天応 元年	781	桓武天皇即位 実弟早良親王立太子
延暦 元年	782	朝原内親王、伊勢斎宮に卜定 4歳
2年	783	藤原乙牟漏、皇后となる
3年	784	長岡京遷都
4年	785	朝原内親王伊勢下向 先に造斎宮司を送る 桓武天皇、百官を引き連れ、伊勢国境まで朝原内親王を見送る 藤原種継射殺事件 早良親王憤死 置倉の法發布
14年	794	平安京遷都 郷倉設置令
15年	796	朝原内親王、伊勢斎宮を解かれる。 桓武天皇、朝原内親王邸に行幸。 七大寺の出舉を旧に復することを求める
18年	798	越後土井庄を朝原内親王に賜る
同じ頃		横江莊、朝原内親王に賜ると見られる
大同 元年	806	桓武崩御、平城天皇即位 朝原は平城妃に
大同 4年	809	平城天皇讓位、嵯峨天皇即位、平城上皇平城京に移る、
弘仁 元年	810	平城上皇、平城京還都を宣す。二所朝廷朝原内親王ら上皇に同行せず 葉子の変、藤原種継女平城内侍藤原葉子服毒自殺兄仲成射殺、上皇は退位し剃髪
弘仁 3年	812	朝原内親王、妃を辞す
弘仁 8年	817	朝原内親王没39歳
弘仁 9年	818	酒人内親王、朝原内親王の遺言により、東大寺に横江莊外二莊を施入
弘仁 14年	823	加賀国新置。石川郡成立。
天長 6年	829	酒人内親王没 日本後記に「容貌殊麗」桓武帝の「寵愛方盛」と記す
天暦 4年	950	『東大寺封戸莊園並寺用帳』に横江莊欠落
長徳 4年	998	『東大寺領諸國莊家田地目録』に「加賀國横江莊田百八十六町五段二百歩巳荒」と記す

## 二曲姫（一向一揆哀話）

一向一揆最後の砦、鳥越城主鈴木出羽守の娘「百合姫」は美人で髪が長く、座敷にお立ちになると、黒髪が足元まで二曲たまるので、二曲姫と呼ばっていました。



天正八年  
(1580)

鈴木出羽守  
と子息四人  
が、織田信  
長の重鎮柴  
田勝家に松  
任城で謀殺され、お城を奪い取  
られた時、二曲姫は勝家の臣「佐  
久間盛政」に捕えられ、尾山  
城（金沢城）に連れて行かれま  
した。

盛政は姫を哀れんで、綺麗な  
部屋に幾人も侍女を付けて、何  
不自由なく暮らさせました。  
しかし、姫は大きな運命の変  
転を悲しんでいた或る日、盛

政に部屋へ呼ばれ「急な出来事  
で、さぞや悲しい思いをしたこ  
とであろう。親子兄弟が今日  
あつて明日をも知れないのが、  
今の世のならいである。過ぎ  
去ったことは諦めて、朗らかに  
過ごされよ。不自由なことは何  
なりと申し出るがよい。もしあ  
ることにその氣があるなら、余  
が奥にして末永く慈しむであろ  
う。」と申されました。

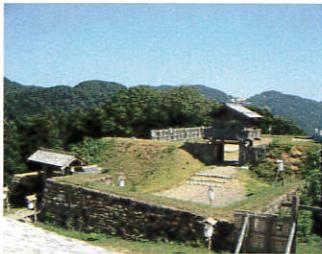
二曲姫は「敵将の娘をあやめ  
もせず、このように情け深く丁  
重にもてなし下され、重ね重ね  
の温情、只々いたみに入るばかり  
にござります。その上に今のお  
言葉、嬉しく女冥利に尽きる思  
いでござります。誠に勝手がま  
しいことを申しますが、この儀  
は何んお許し下さいませ。妾は  
髪を下ろし尼となつて亡き父や  
兄達を弔い、冥福を祈りたいと  
存じます。二曲の館に戻りとう

ございます。我僕を何卒お聞き  
届け下さいますよう。」と言つ  
て、よよと泣き伏しました。

盛政はこの様をご覧じ「さも  
あろうのう。いささかの恩義に  
かこつけるように其許に口説き  
がましいことを申してすまなか  
つた。されば、望みを叶えて  
やろうぞ。」と言つて、装い凝  
らした輿に姫を乗せ、供を付け  
て二曲の館へ送り届けてあげま  
した。

姫は長かつた黒髪を惜しげも  
なく剃り落として尼僧となり、  
法名を妙好と賜り、館を出て、  
釜清水村の阿含谷（あごんだ  
に）のほとりに草庵を結び、念  
持仏の十一面觀音像を安置し  
て、朝夕念佛三昧の日々を送る  
ようになりました。

天正九年  
出羽守の遺  
臣等が鳥越  
城奪還の反  
乱を興した  
ので、盛政



ら兵を率いて鎮定し、敗残の兵  
は一人も逃がすなど厳しい探索  
を進めました。

草庵の尼姫はこの様子を察  
し、尼といえども出羽の遺子と  
あるからには所詮逃れるすべは  
ないと観念し、念持仏を背負い、  
吉野あたりへと庵を忍び出たと  
ころを敵方に発見され、雑兵の  
刃にかかる落命されました。

盛政は戦線の途次、この場に  
行き会い、姫の骸を膝に抱き上  
げ、「運命さだめつたない女子であつ  
た。」と言つて、はらはらと涙  
を流されたと申します。

盛政は里人に、姫の亡骸を阿  
含谷に葬らせて、ささやかな御  
堂を建て、姫の念持の觀音を祀  
り、行く末永く供養するよう  
に申されたと伝えられています。

中世を知る上で欠かせない  
「一向一揆」を紹介している鳥  
越一向一揆歴史館も平成十三年  
の開館から十年が過ぎ、新たな  
展開が求められています。

（文責 伊藤 博一）

# 平成23年度行事予定

事業計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
千代女の里 俳句館	千代女・一茶の ふるさと交流展 俳画の 愉しみ展	俳画の 絵手紙展	写真展	西のほる 文学の絵展	写真と 俳句展	千代女 名品展	山野草と 写真展	松任 俳句協会 会員展	つるもり ひろこ 人形展	千代女・一茶の ふるさと交流展	石川の俳人・ 野本永久展	
松任博物館		一品展	企画展 硬質陶器 の名品展	「目覚めろ! 日本の恐竜 たち!」展	「千代女 名品」展		特別展 「米と酒 展」		一品展			
松任中川一政 記念美術館	常設展示	出張 美術館	常設 展示	花を 描こう 絵画展	常設展示	開館25周年記念 特別展 特別展記念講演会(10/21)			常設展示			
石川リーツ 交流館	篠笛 コンサート	「本吉瓦」展 山中節を楽しむ会		「昆虫」展	「夏休み 体験教室」		ヨシ笛 コンサート					
松任 ふるさと館			庭園ライトアップ 「七夕夜灯、七夕茶会」	庭園ライトアップ 「月見夜灯、観月茶会」			庭園ライトアップ 「雪見夜灯」		あやめまつり	椿盆栽・ 生花展、 「椿茶会」		
鶴来博物館	「鶴来桜伝説」 展	鶴来と白山麓の歴史と文化(常設展)		「白山への道～ 木村芳文写真展」		鶴来と白山麓の歴史と文化(常設展)						
鳥越一向一揆 歴史館		常設展示		企画展「加賀一向一揆」展			常設展示					

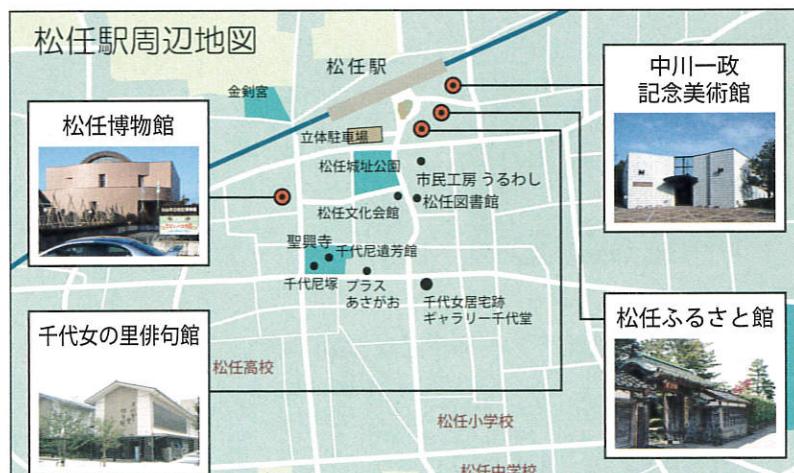
※詳細については各館までお問い合わせください

**ご寄付  
ありがとうございます。**

平成22年関係

《松任中川一政記念美術館》

●中川一政コレクション  
土佐光茂(六曲屏風)  
中川 晴之助 様  
(中川一政 二男)



## 編集後記



白山市の文化施設が集まって白山ミュージアムを発刊してから、今回5回目の発刊を迎えられました。集まった原稿を一足先に拝見させていただきましたが、海あり、山ありの白山市にふさわしく各施設とも、特色のあるバラエティーに富んだ展示や行事が行われているのに改めて気づかされました。これから行楽の季節、白山市をより一歩知るために足を運んで見られてはいかがでしょうか。ご来館、お待ち致しております。

Y